

中部山岳国立公園南部地域 コンセプト普及方針

—中部山岳国立公園南部地域のブランド確立に向けた関係者間の意識共有に向けて—

National
Parks
of Japan



Birthplace of the Japanese Alps

-Discover, Experience and Share the Wonder-

中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会

コンセプト普及方針の概要

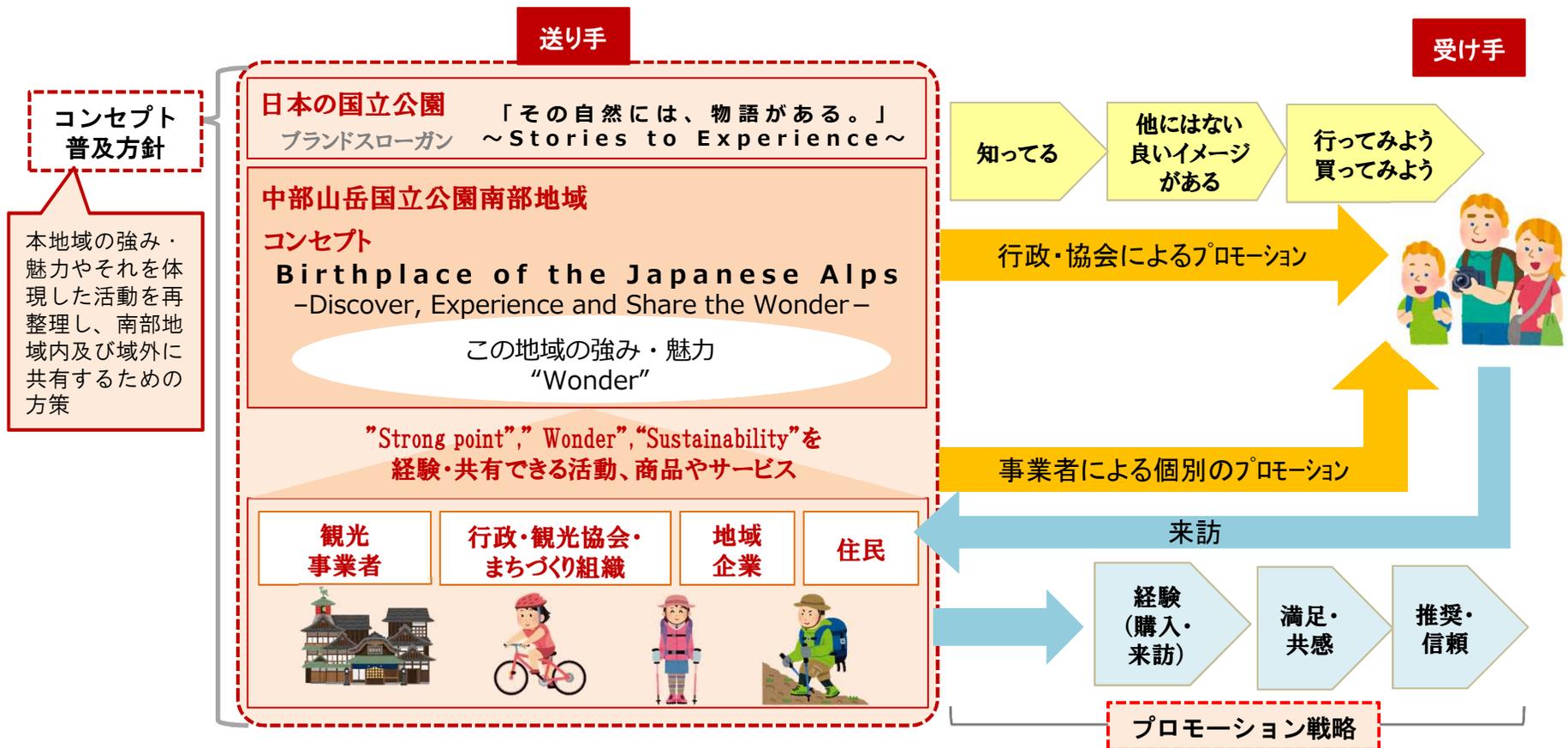
近年、日本の自然景勝地が国際的にも評価されはじめている。中部山岳国立公園内に位置している本地域では、この優位性を活かして、地域の魅力を的確に発信することで利用者を増加させるとともに、利用収入を原資に環境保全を推進することで、さらに魅力的な地域となるような「好循環」をつくりだすことを目指している。

コンセプト普及方針の目的

- 世界的な視野で見た場合に、日本の国立公園や南部地域の強みとなる要素やストーリー（＝コンセプト）を関係者間で共有し、各主体がこれに基づくプロモーションを行うとともに、活動や商品・サービスにもこの要素を意識的に付加することで、本地域の価値がより明確に世界中の利用者に伝達される状態をつくることを目指して、コンセプト普及方針を作成する。

コンセプト普及方針の位置づけ

- 地域のブランディングのためには、地域内部で「強み・魅力を共有」し、それに基づいて各主体が統一的な行動をとることが重要である。このため、本方針は、地域内の関係者間での認識を共有するインナープロモーションのために作成する（「プロモーション戦略」は市場に対してどのように情報を届けるかを記したもの）。地域内部で「強み・魅力を共有」したうえで、各主体がそれを体験できる活動・商品サービスを提供するとともに、適切なプロモーションを行うことが求められる。



本書の構成

コンセプト普及方針では、日本の国立公園の特徴や価値を概説した上で、南部地域の強みとなる要素やストーリー（＝コンセプト）を再整理する。

そのうえで、南部地域の中で暮らし・経済活動をする人々が、それらを再認識し、経験・共有できる活動や商品・サービスを増やし、競争力を高めるための取組みの事例を示す。

No		概要	頁
1	日本の国立公園の特徴や価値とは	世界的な視点から、日本の国立公園の特徴や価値について解説	4
2	中部山岳国立公園 南部地域の「強み・魅力」の再整理	「中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム 2020」のコンセプトに基づいて Birthplace of the Japanese Alps -Discover, Experience and Share the Wonder- に象徴される本地域の「強み・魅力」を再整理	8
3	「強み・魅力」を経験・共有できる 活動やサービス等の開発・実践例	来訪者が経験できる活動やサービスに、本地域の「強み・魅力」を組み込んだ事例や今後実現したいアイデアを紹介	11
参考	本地域の 「強み・魅力」とSDGsとの対応	SDGsの達成に向けて本地域が貢献していること、貢献できることについて整理	16
4	コンセプトを地域内で普及させ、 外部に発信するための方法	コンセプトに基づいて、南部地域内で共有していくための方策、普及の際のルールを提案	20
5	ロゴマークの使用条件	ロゴマークの使用条件、申請方法	22

1. 日本の国立公園の特徴や価値とは

National
Parks
of Japan



日本の国立公園の特徴

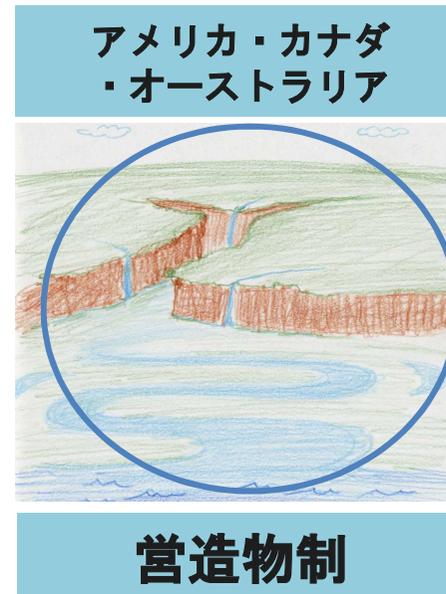
特徴①日本型の地域制国立公園

- 日本のように昔から複雑で高密度な土地利用がなされている場合、**様々な土地所有者が存在し、公園専用の土地**を確保できない。
- 土地所有にこだわらない、**日本型の公園指定制度**（いわゆる「**地域制国立公園**」）が考案された。

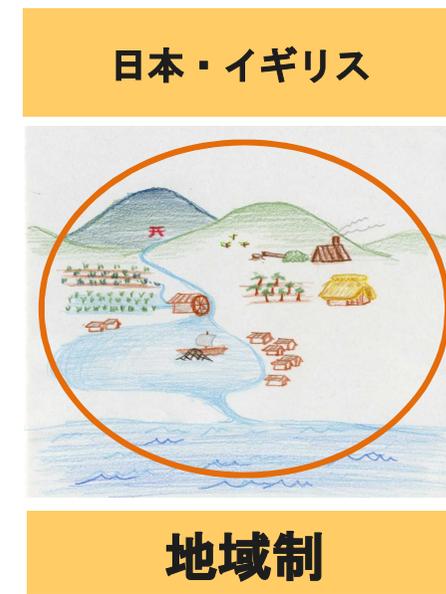
特徴②保護と利用の両輪で誕生

- 混迷の時代の中、**自然保護と、外貨獲得のための外国人観光客誘致の国策**として、様々な期待を受けて国立公園が誕生。

1929 世界恐慌



公園専用の土地とする



様々な人の所有地・土地の利用に、一定の法の網を被せる。

「我が国天与ノ大風景ヲ**保護**開発シ
一般ノ**利用**ニ供スルハ国民ノ保健
休養上緊要ナル時務ニシテ**且外客**
誘致ニ資スル所アリト認」

1931（昭和6）年帝国議会における国立公園法提案理由より

日本の国立公園の価値

変化

- ・ 南北に長い国土
- ・ 四季の変化
- ・ 急峻な地形
- ・ 地震・火山（動く大地）などにより、
多様で変化に富んだ自然



文化

- ・ そうした多様な自然に育まれてきた人々の暮らし
- ・ その中で作り上げられて来た
風景、食、文化、産業等が
体験できる



- ・ 日本の国立公園は、世界的にみても奇跡のような日本の自然を体現している
- ・ 日本の国立公園は、地域制国立公園であるが故に、国立公園内に人々が暮らしている
- ・ 故に、地域ごとに、脈々と受け継がれて来た信仰や自然とのつきあい方など、日本（地域）ならではの自然・文化・暮らし・食・産業などが息づいている。
- ・ 厳しい自然とともに苦勞しながら、長い時間をかけて築き上げてきた暮らしそのものも、国立公園の重要な資源

→世界的に見ても奇跡のような自然と、人の暮らしが共にある国立公園

そうした日本の国立公園だからこそ、「人と自然がともに生きてきた証」の体感を約束します！

日本人の精神性

見立て、枯山水、妖怪、例える力、観察力、もののあはれ、わびさび、…

受け入れる力

適応力 順応性

- ・工夫しないと生きていけない
- ・その土地にあった知恵を活用する力 (根絶やしにしない)
- ・取り入れて工夫する力

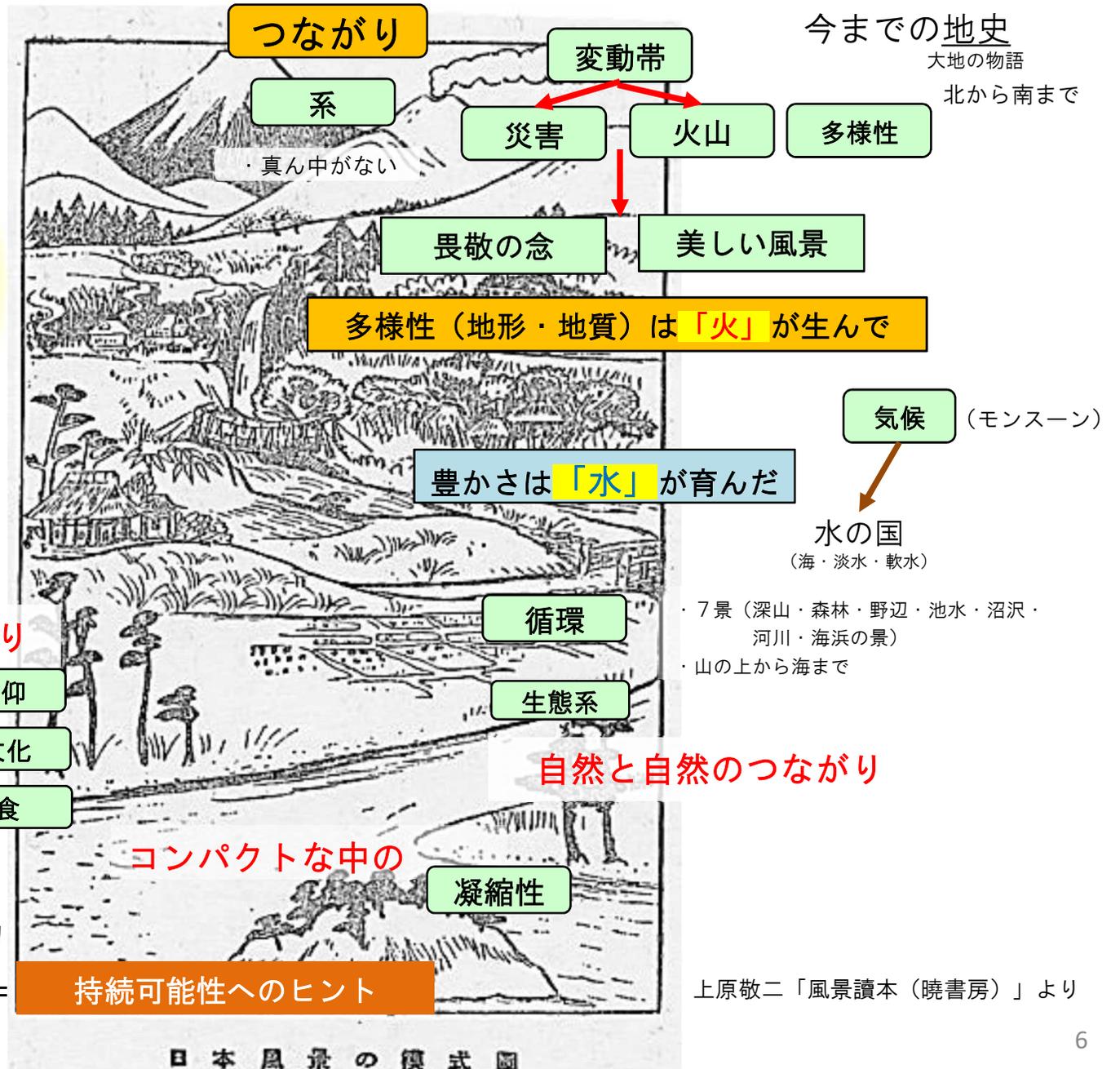
人と自然のつながり

- 信仰
- 文化
- 食

和食・出汁文化

価値観が変動する
世界の中で生きていく力

人と自然が共に生きていく = 持続可能性へのヒント



上原敬二「風景讀本 (暁書房)」より



日本の国立公園のブランドスローガン 「その自然には、物語がある。」

客の期待

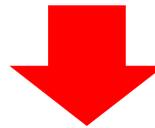
日本の国立公園を訪れる人が求めていること

- ①その土地独自の自然・歴史・文化（食）を体験したい
- ②日本を代表する四季折々の自然の中で風景を楽しむ

提供価値

日本の国立公園が提供できること

多様な自然風景と、
生活・文化・歴史が凝縮された物語を
知ること、忘れられない唯一無二の
体験ができる。



「その自然には、物語がある。」
～Stories to Experience～

これが、世界に
訴求できる
日本の国立公園
の売り！

⇒ 日本の国立公園ならではの魅力。
これを体現する地域の資源を活かしたコンテンツづくり、
サービス提供等を通じて、**世界中から憧れる旅の目的地へ。**

2. 中部山岳国立公園南部地域の「強み・魅力」の再整理

過年度までの事業を通じて設定した、南部地域の「強み・魅力」を説明する“コンセプト”とコンセプトを象徴する“フレーズ”を示す。

中部山岳国立公園南部地域のコンセプト

- 中部山岳国立公園南部地域は槍・穂高連峰、乗鞍岳などの 3,000m 級の山々が連なる日本の屋根北アルプスの南部に位置している。19 世紀後半に宣教師ウォルター・ウェストンがこの地域を「日本アルプス」として世界に紹介し、これをきっかけに日本式アルピニズム文化が発祥した。以来その文化が地域に根付き、日本アルプスを中心に据えた人々の生活・文化が今に受け継がれている。
- 本地域においては急峻な岩山から森林、渓谷、高原と多様でダイナミックな景観が見られ、ライチョウ、ニホンカモシカやコマクサなどの希少な動植物との出会いがある。また山や高原での登山、トレッキング、スキー、スノーシューイングなどのアクティビティを堪能することができる。山麓には個性豊かな露天風呂を巡ることができる奥飛騨・白骨・さわんどなどの温泉郷があり、ゆっくりと温泉に浸かって疲れを癒やして山菜などの山の恵みを味わい、静寂に包まれる夜は満天の星空を眺めて安らぎのひとときを過ごす贅沢な滞在利用が可能な地域である。
- 本プログラムにおける上記のコンセプトは、本地域における日本式アルピニズム文化の発祥を広く国内外に周知するとともに、北アルプスの美しい自然をそこに住む人々と多くの来訪者が共に分かち合えることを願って設定したものである。

コンセプトを
象徴するフレーズ

Birthplace of the Japanese Alps
-Discover, Experience and Share the Wonder-

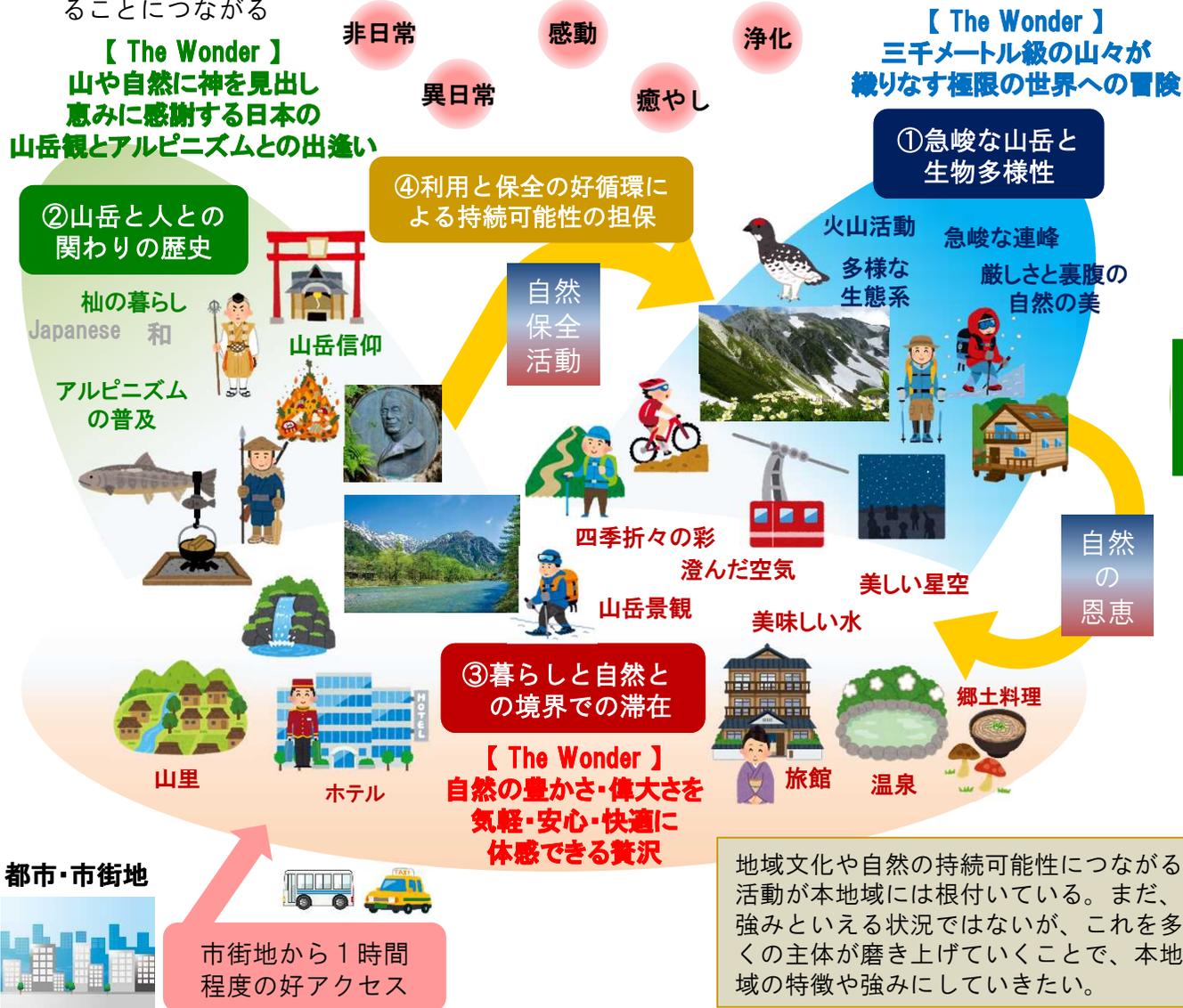
「中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム 2020」より、抜粋

2019年度は、これらを地域の関係者が実感をもって共有し、活用できるようにワークショップ等を実施し、コンセプトを起点に肉付け作業を行った。



南部地域の「強み・魅力 (Wonder)」を再整理した結果

- 南部地域の特徴は、都市から近い距離に急峻な山岳地域が位置していることである。この地形により、訪問者は、都市～郊外～山里～景勝地～山岳という人と自然との関わり方のグラデーション（段階）を楽しみ、体感することができる。このグラデーションこそが、この地域のライフスタイルや自然、景観、地域文化などの多様性の源泉といえる。
- このため、国内外からの訪問者の様々な目的に対応したThe Wonderを提供できる地域となっている。
- 訪問者は「非日常」「異日常」「感動」「癒やし」「浄化」といった体験をすることができる。
- 南部地域の自然を保全するためのルールや自発的な活動などがこの地域にはあり、これをより強めることが本地域の価値をさらに高めることにつながる



▼ THE WONDER

- ①急峻な山岳と生物多様性**
～三千メートル級の山々が
織りなす極限の世界への冒険～
- ②山岳と人との関わり方の歴史**
～山や自然に神を見出し恵みに
感謝する山岳観とアルピニズム
との出逢い～
- ③暮らしと自然との境界での滞在**
～自然の豊かさや偉大さを
気軽・安心・快適に体感
できる贅沢～

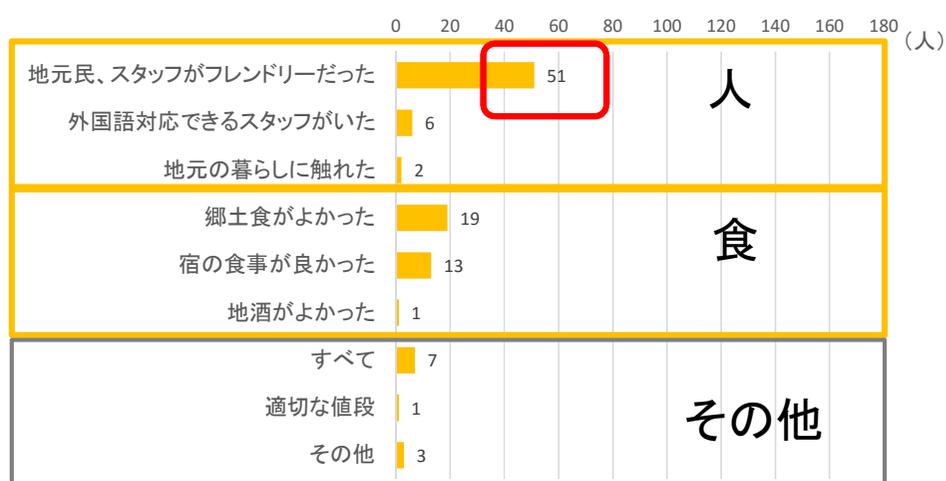
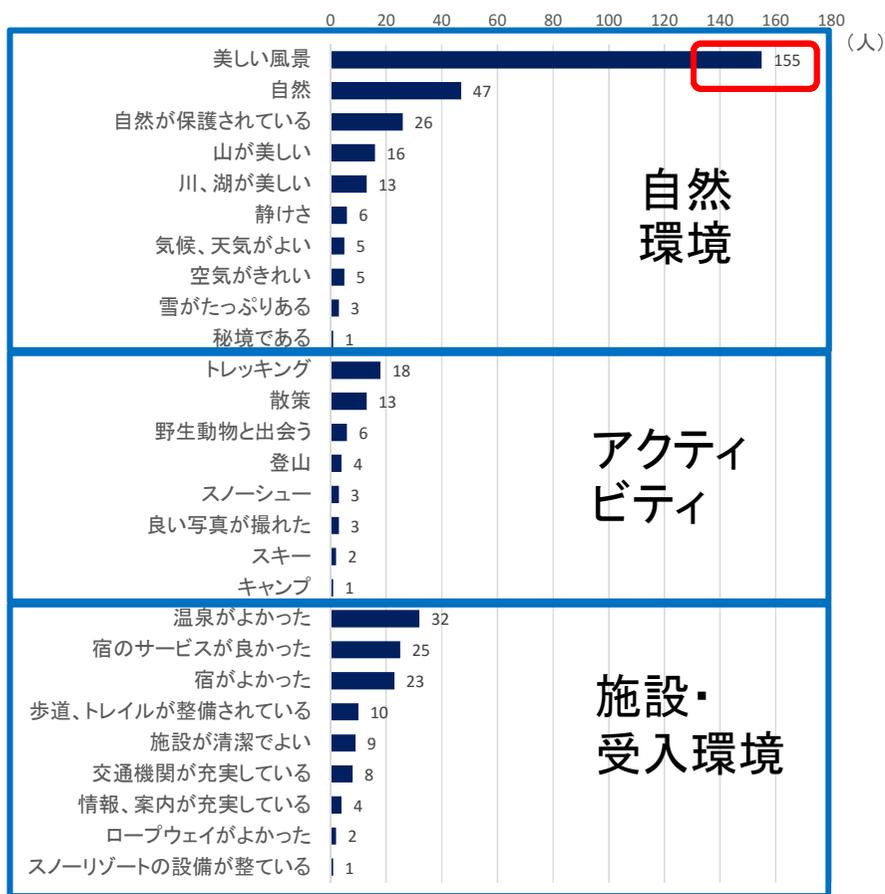
- ▼ Sustainability**
- ④利用と保全の好循環
による持続可能性の担保**

【参考】南部地域の強み・魅力とは？

南部地域を訪れた外国人旅行者のアンケートより

- 美しい風景や自然に関する記述が最も多く挙げられた。この地域で暮らす人たちとのふれあいや、施設スタッフの対応も良かったこととして挙げられていた。

南部地域を訪れた外国人旅行者が、特に満足したこと（自由記述を整理）



調査実施概要

- 平成30年度には秋季・冬季、令和元年度には春季・夏季にかけて、調査を実施した。
- 調査対象者は、個人で本地域を訪れた外国人旅行者である。配布・回収は、「宿泊施設での留置調査」「調査員による対面調査」の2通りの方法で実施し、合計392件の回答を得た。

3. 「強み・魅力」を経験・共有できる活動やサービス等の開発・実践例

中部山岳国立公園南部地域

Birthplace of the Japanese Alps

–Discover, Experience and Share the Wonder–

地域ブランド力を高めるため、右に示す4つの要素を経験・共有できる活動やサービスを意識的に創出していくことが望ましい。

本項では、南部地域の事業者などのプレイヤーとのワークショップにおいてあげられた実践例やアイデアを紹介する。

①急峻な山岳と生物多様性

～三千メートル級の山々が
織りなす極限の世界への冒険～

③暮らしと自然との境界での滞在

～自然の豊かさや偉大さを
気軽・安心・快適に体感
できる贅沢～

②山岳と人との関わりの歴史

～山や自然に神を見出し恵みに
感謝する山岳観とアルピニズム
との出会い～

④利用と保全の好循環による持続可能性の担保

”Strong point”, ”Wonder”, ”Sustainability”を
経験・共有できる活動、商品やサービス

観光
事業者

行政・観光協会・
まちづくり組織

地域
企業

住民



①急峻な山岳と生物多様性

～三千メートル級の山々が織りなす極限の世界への冒険～

- 槍・穂高連峰を中核とする急峻な山岳や活火山である乗鞍岳・焼岳及びその山麓に広がる広大な高原を含む、我が国を代表する山岳地帯である。
- 山岳が急峻であるため、狭い範囲の中で大きな標高差と様々な地形が存在し、そこに変化に富んだ原生的自然が形成されている。
- 風・水流・火山活動等により刻々と変化する“生きた自然”があり、訪れるものを飽きさせない。
- 豊かな植物相とそれに応じた、多様な動物の生息が確認されている。ツキノワグマやニホンカモシカなどの大型哺乳類のほか、ライチョウ、ホシガラスなどの鳥類、様々な高山蝶類などが分布している。また、滝、清流、湖沼、樹氷など、多様な水資源も見ることができる。
- こうした山岳がもたらす水や大地、空気などの恵みは、南部地域の暮らしをはじめ、遠く都会にまで恩恵を与えている。

→南部地域の自然の特徴を
意識したプロモーション、
サービス等の開発につなげる



■新穂高スノーシュー(SATOYAMA EXPERIENCE)

- 標高1,300mに位置する鍋平高原を舞台にスノーシューを実施。新穂高を熟知したガイドが案内し、冬の新穂高の魅力伝えていく。



出典：SATOYAMA EXPERIENCE Webサイト等をもとに編集

Birthplace of the Japanese Alps
- Discover, Experience and Share the Wonder -

この魅力を伝える活動等の開発・実践例

■飛騨山脈ジオパーク構想(飛騨山脈ジオパーク推進協議会)

- ジオパークとは、地形や地質などの「大地の遺産(=ジオ)」を保護・保全するとともに、教育・研究に活用し、さらにはガイド付きツアーを通じて見どころとなる場所を巡ることで、大地に親しみ、その成り立ちや生態系、人々の生活を学ぶ場所(=パーク)のことである。
- 飛騨山脈では、日本列島の形成に関わる岩石や、継続的な地殻変動の痕跡が随所で見られる。その分布範囲は、高原川流域、小八賀川流域、荒城川流域に集約されており、狭い範囲で5億年もの日本列島の成り立ちを体感できる非常に特徴的な場所である。
- 飛騨山脈の四季折々の美しい景色、新鮮で美味しいお米や野菜、豊かな森林や草花をはぐくむ土壌、身も心も癒してくれる豊富な湯量を誇る温泉や神秘的な鍾乳洞などもすべてこの地質の恩恵により成り立っている。将来にわたってふるさとに誇りを持つことができる持続可能な地域づくりを実現するため、高山市奥飛騨温泉郷・上宝町・丹生川町をエリアとし、地域一体となった取り組みが進められている。

出典：高山市Webサイトをもとに編集

■日本第5位の高峰 槍ヶ岳や、3,000m級の乗鞍岳への登山

- 槍ヶ岳や乗鞍岳、穂高連峰への登山ルートがあり、初心者から上級者まで楽しめる。
- また、北アルプスを中心に登山・山岳ガイドを行う「信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ」など、歩くスピード・休憩・天候の判断など、専門的な知識を持ったガイドがサポートする体制もある。



出典：エムティラボ株式会社「信州とっておき情報」Webサイト、飛騨乗鞍観光協会Webサイト、信州まつもと山岳ガイド協会やまたみWebサイトをもとに編集

②山岳と人との関わりの歴史

～山や自然に神を見出し恵みに感謝する
山岳観とアルピニズムとの出会い～

Birthplace of the Japanese Alps
- Discover, Experience and Share the Wonder -

- 日本人の自然観では、山岳は信仰の対象であり、貴重な山の恵みを頂く場であった。こうした自然観は時代の変化の中で薄れつつあるが、神社や祭事、山での意識や行動の中にそれらが残っており、異文化から見ると魅力的な「和 (Japanese)」の要素となっている。
＜日本人の自然観の特徴＞
 - 名もない草花など万物に神性を見出すこと
 - 限られた資源を有効に利用し破壊しつづかない(循環的)
 - 地震、風水の災禍が多く、畏敬・畏怖すべきものと捉える
- また、19世紀後半に宣教師ウォルター・ウェストンが訪れ、この地域を「日本アルプス」として世界に紹介。これをきっかけに狩猟や信仰目的ではなく、登ること自体を目的とする登山(アルピニズム)が日本でも普及した。

→南部地域における山岳と人との関わりの歴史を認識し、
プロモーション、サービス等の開発につなげる

■ 嘉門次小屋

- 上條嘉門次が創設した山小屋で、現在4代目とその維持管理をしている。上條嘉門次は日本登山の父、W. ウェストン夫妻の山の案内人として知られている。創業(明治13年 1880年)当時の面影を残す囲炉裏を囲んで団欒を楽しむことができ、上高地130年の歴史を感じることができる。



出典：嘉門次小屋Webサイトをもとに編集

この魅力を伝える活動等の開発・実践例

■ 穂高神社奥宮例大祭

- 毎年10月8日に行われている御船神事が穂高神社奥宮例大祭。山の安全を神に感謝するお祭りで「明神池お船祭り」とも呼ばれる。
- 神官による祝詞、巫女による舞が奉納された後、平安装束に身を包んだ神官らが龍頭鷗首(りゅうとうげきしゅ)の2艘の御船で明神池を周遊。雅楽の調べの中、荘厳で神秘的な明神池で繰り広げられる光景は、さながら平安絵巻のようである。



出典：信州STYLE、上高地公式Webサイトをもとに編集

■ ウェストン祭

- 日本アルプス・上高地を広く世界に紹介し、登山の楽しさを伝えた日本近代登山の父とも言われるイギリス人宣教師ウォルター・ウェストン(1861-1940)。氏の功績を称え偲ぶ行事が毎年6月第1土曜日・日曜日に行われる。
- 土曜日は、かつてウェストンも歩いた島々谷から徳本峠を越え、上高地までの記念山行。日曜日の式典では、ウェストンレリーフ前にて献花や詩の朗読、合唱、記念講演などが開催される。



出典：信州STYLE、上高地公式Webサイトをもとに編集

③暮らしと自然との境界での滞在

～自然の豊かさや偉大さを
気軽・安心・快適に体感できる贅沢～

Birthplace of the Japanese Alps

- Discover, Experience and Share the Wonder -

- 登山前後、あるいは自然散策や自然観察の拠点となる**快適な滞在施設が南部地域には集積**している。滞在施設には、ホテル、旅館、ペンション、ゲストハウス、キャンプ場など**多様な選択肢があり、郷土食も含む多種多様な食事を**楽しめる。
- 険しい山岳に登頂しなくても、**山岳の傾斜や四季折々の自然を活用したスポーツ**を楽しんだり、宿泊施設の傍で**星空観察**をすることもできる。
- 火山活動の恵みである温泉の数や湯の種類**においても**日本有数の豊かさ**を誇っている。
- 国立公園内に居住している人がおりコミュニティがある**ことも大きな特徴であり、生活しながら訪問者を受け入れることで、**暮らしの中で大切にしている地域資源や体験を提供**することも可能になる。

→南部地域において、自然の素晴らしさを気軽に楽しめるアクティビティやサービス、快適に過ごせる施設やサービスなどが多彩で**選択可能であるという強みをプロモーション、サービス等の開発につなげる**



この魅力を伝える活動等の開発・実践例

■泉質が異なる個性豊かな奥飛騨・白骨・さわんどなどの温泉郷

- 南部地域の温泉は、単純温泉、単純硫化水素泉、炭酸水素塩泉、塩化物泉など、様々な泉質があり、効能が異なる。



出典：平湯温泉観光協会、白骨温泉観光協会、エムティラボ株式会社「信州とっておき情報」、新穂高温泉観光協会のWebサイトをもとに編集

■「乗鞍 星と月のレストラン」 (信州未来づくりカンパニー)

- 会場内の光や調理器具に必要な電力は、すべて電気自動車（EV）を活用することで賄われる。電気のない大自然にいながら、快適かつラグジュアリーな空間を提供。解放的な空間のなかで食べるスペシャルディナーは、日常の疲れを癒し、自然への畏敬の念を思い起こす、都会では味わえないエコなグランピング体験となっている。



出典：新種未来づくりカンパニー「乗鞍 星と月のレストラン」をもとに編集

■五色ヶ原フォレストトレッキング (濃飛バス)

- 清らかな溪流とダイナミックな滝、原生林に棲む野鳥や小動物たちとの出会いを楽しめるツアーを実施。



出典：濃飛バスWebサイトをもとに編集

■乗鞍高原サイクリングロード

- 乗鞍高原内にはサイクリングロードが整備されている。春は美しい新緑の中を、夏は高原の涼しい季節に美しい自然の中を爽快に走ることができる。
- レンタルサイクリングからマウンテンバイクまで整備され、ガイドツアーも参加可能である。



出典：温泉の宿 雷鳥Webサイトより編集

④利用と保全の好循環 による持続可能性の担保

- 貴重な自然が集積している地域であるが、利用者数も多く多様化しており、自然保全・保護活動にも力を入れることが必要である。
- 地元の関係者が、保全・保護の活動を事業やボランティアとして行ってきた歴史があり、こうした活動により多くの受益者が参加していくことを南部地域のスタイルとして確立していくことが望ましい。

→南部地域のこれまでの自然保全・保護の取組みを、より多くの事業者や生活者が実践し、より多くの受益者との連携の中で進めていくことが持続可能な地域づくりや地域の価値の向上につながる。
保全・保護活動に多くの主体を巻き込むとともに、その活動を広く周知するためのプロモーション、サービス開発につなげる

■ ジェラート&カフェ GiFT NORIKURA

- 次の世代にも豊かさをつないでいくために。お店で提供するカップやスプーンなどにエシカルな素材を使ったり、テイクアウト用にリユースボトルを貸し出し、Going Zero Wasteに取り組んでいる。また、売り上げの3%は乗鞍の環境整備のために寄付し、サステイナブルにつながるアクションを積み重ねている。



テイクアウト用にリユースボトルを貸し出し、Going Zero Wasteへ



出典：GIFT NORIKURA Webサイトより編集

Birthplace of the Japanese Alps

- Discover, Experience and Share the Wonder -

この魅力を伝える活動等の開発・実践例

■ 乗鞍新登山道(平湯温泉観光協会)

- 登山者の安全を守り多くの方が感動するような絶景を歩ける「乗鞍新登山道」の整備活動を、企業からの協賛や広く一般に寄付を募るクラウドファンディングの仕組みを活用し、スタートした。



出典：MAKUAKE「乗鞍新登山道整備2017」より編集

■ 大河の一滴プロジェクト(リトルピークス)

- 中部山岳国立公園には、梓川の始まりがある。山頂に降った一滴が約65kmの旅をへて、梓川に流れ込むまでの道のりを、様々なアクティビティでつなぐ教育プログラムを開発・実践。水をキーワードにつながりや循環を学ぶことができるプログラムである。



出典：小峰氏(リトルピークス)発表資料より編集

参考. 本地域の「強み・魅力」とSDGsとの対応

中部山岳国立公園南部地域

Birthplace of the Japanese Alps

-Discover, Experience and Share the Wonder-

①急峻な山岳と生物多様性

～三千メートル級の山々が
織りなす極限の世界への冒険～

③暮らしと自然との境界での滞在

～自然の豊かさや偉大さを
気軽・安心・快適に体感できる贅沢～

②山岳と人との関わりの歴史

～山や自然に神を見出し恵みに
感謝する山岳観とアルピニズ
ムとの出会い～

④利用と保全の好循環によ る持続可能性の担保



”Strong point”, ”Wonder”, ”Sustainability”を
経験・共有できる活動、商品やサービス

観光
事業者

行政・観光協会・
まちづくり組織

地域
企業

住民



持続可能な開発目標

SDGs

Sustainable
Development
Goals

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



次ページに中部山岳国立公園南部地域
がSDGsに貢献していること、貢献で
きることの一例を挙げてみました。他
にも貢献できることがあると思います。
皆様の中でも考えたり、話し合ってみ
てください。

中部山岳国立公園南部地域の強み・魅力とSDG s との対応

	SDG s	中部山岳国立公園南部地域が貢献できること
	貧困をなくそう あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人々が山の恵みに生かされています。中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、地域の強みと、山の恵みを活かした経済活動を行い、仕事や雇用の機会を創出します。
	飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、清らかな水を供給し、下流域の農業及び食糧生産に寄与します。
	すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、きれいな水の供給と、訪問者に対する癒し・感動・運動の機会を提供し、心身の健康や明日への活力を創出します。
	質の高い教育をみんなに すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、世代や国籍を超えた多様な人々に、この地域の自然や歴史を活かし、山岳のすばらしさをはじめ、多様な自然環境や動植物、山岳と人との関わり、自然との暮らしの中で培われてきた知恵などを踏まえ、発見や学びの機会を提供します。
	ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、性別に関係なく、多様な人々を平等に受け入れ、良質なサービスを提供します。また、自然との暮らしの中で培われて来た知恵の多くは女性が育み受け継いできたものです。今後も、地域内外の様々な活動においても女性の活躍を促進します。
	安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、山岳をはじめ公園利用者のトイレ環境の向上と、下流域に影響を及ぼす山岳地域の水質の保全に取り組んでいます。

中部山岳国立公園南部地域の強み・魅力とSDGsとの対応

	SDGs	中部山岳国立公園南部地域が貢献できること
 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、地域へのエネルギー供給をはじめ、遠く大都会までクリーンなエネルギーを供給しています。また、この地域の多様な関係者とともに省エネルギーやエネルギーの地産地消を促進します。
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>働きがいも 経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、この地域の強みを活かし、地域ならではの働きがいと、持続可能な経済成長を生み出します。
 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>	<p>産業と技術革新の基盤をつくらう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域の豊かな山岳環境や水環境、山岳と人との関わりや自然との暮らしの中で培われた知恵は、今後の持続可能な産業創出やイノベーションの源泉です。多くの関係者とともに、利用と保全の好循環を活かしながら、しなやかで強靱なインフラ構築をはじめ、今後の持続可能な産業化やイノベーションの機会を提供します。
 <p>10 人や国の不平等を なくそう</p>	<p>人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、世代や国籍を超えた多様な人々に、良質で平等なサービスの提供を行うとともに、元気な地域づくりを通じて、地域内格差の解消にも努めます。
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、この地域の豊かな山岳環境や水環境、山岳と人との関わりや自然との暮らしの中で培われた知恵を活かし、利用と保全の好循環の取組を伸ばしながら、地域力の向上をめざし、安全で安心して住み続けることができる地域づくりに努めます。
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、この地域の山岳と人との関わりや自然との暮らしの中で培われた知恵を活かした「利用と保全の好循環を生み出す取組」を地域の強みにするべく強力に推進することを通じて、持続可能な生産と消費に貢献します。 また、公園利用者にもその価値観を共有することで、つかう責任の普及啓発にも努めます。

南部地域の強み・魅力とSDGsとの対応

	SDGs	中部山岳国立公園南部地域が貢献できること
	<p>気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、日本を代表する山岳地域として、気候変動の影響をいち早く受けるエリアでもあることから、今後も、多くの関係者とともに、各種事業活動での取り組みやマイカー規制などを通じて、発生する温室効果ガスの排出量を抑制し、気候変動への影響を抑えることに貢献します。また、こうしたエリアの特徴を活かし、様々な機会をとらえて、利用者への普及啓発にも取り組みます。
	<p>海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、清らかな水を供給するとともに、人間も含めた多様な命を育む、水に関する知恵・知識の普及啓発や上流域と下流域の交流を通じて、海洋の保全にも寄与します。
	<p>陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、この地域のすばらしい山岳環境と、多様な動植物や豊かな恵みを次世代に残すため、生態系の保全・回復を図るとともに、山岳と人との関わりや自然との暮らしの中で培われて来た知恵を活かして、利用と保全の好循環を生み出す持続可能な利用を推進します。
	<p>平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、多くの関係者とともに、この地域への来訪者が、ガイドツアーへの参加や地域での滞在を通じて、地域の住民や事業者とのふれあいや交流の機会を持ち、地域ならではの自然や文化・歴史などの豊かさを感じ、楽しみながら相互理解を深める機会を創出することで、世界の平和の実現に貢献します。
	<p>パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園南部地域は、住民、事業者、行政機関、来訪者をはじめ、国内外の多様なパートナーを含むこの地域に関わる全ての人々と、本地域の魅力・強みを共有しながら、利用と保全の好循環を構築し、あらゆる機会を通じて、上記の取り組みの実現に貢献します。

4. コンセプトを地域内で普及させ、外部に発信するための方法

南部地域内に普及させるために実施すること

- 南部地域内で「強み・魅力は何か？」を考える場を設け、再認識していくプロセスが重要である。その上で、強みや魅力を活かしたサービスの創出に向けた勉強会や実践例、先進事例の共有などを通じて、具体的な活動や開発を実現していくことが望ましい。

○地域内での
強み・魅力の情報共有



○サービス創出や活動実践
に向けた勉強会の実施



○サービスや活動の
開発・実践



○地域内の先進的な
取組みの共有



地域外へ発信するために実施すること

○強み・魅力を冠した活動を識別するための
ロゴマークの作成・活用



○強み、魅力を活かした
各種サービスの開発・提供



○情報発信
(英語ポータルサイトやSNS等の活用)



「3. 強み、魅力を経験・共有できる活動やサービス等の開発・実践例」を参考に各事業者で推進

○強み・魅力を冠した活動を識別するためのロゴデザイン

強み・魅力を伝えるポスター、パンフレット、Webサイト、お土産、標識などに掲載することを想定している。場面に応じて使い分けられるようカラーとモノクロの2パターンを製作。



Logo Concept

Uniquely Japanese, Uniquely Alpine

The concept for this logo is based on the following keywords - mountains, valleys, rivers, stars, and onigiri. The shape of the logo can be seen as a mountain or an onigiri (rice ball) which is a traditional Japanese food made from white rice formed into a triangle and is commonly carried by hikers and climbers heading into the mountains.

The depth of the mountains and history can be seen in the overlapping mountains that rise from highlands/plateaus. Rivers flow down from the "birthplace of the Japanese Alps" within the Chubusangaku National Park which is visible in type.

マカリスター IDEA LAB
MCALLISTER 考務店

Respectfully & Passionately Presented by Seth McAllister

ロゴに込めた思い
(日本語)

Uniquely Japanese, Uniquely Alpine

このロゴのコンセプトは、山、渓谷、川、星空、そして、おにぎりといったキーワードをもとに制作しました。

三角形のシルエットは、山岳と日本の伝統的な食べ物であるおにぎりを表しています。三角形に握られたおにぎりは、昔から日本では山へ向かう人たちの携行食として利用されています。また、山々と歴史の奥行きを、高原や台地から立ち上がる稜線の連なりの中に表現しています。

そして、文字で示している中部山岳国立公園の「Birthplace of the Japanese Alps (日本アルプス発祥の地)」は、豊かな川の供給源でもあることを伝えています。

5. ロゴマークの使用条件

- 中部山岳国立公園南部地域のロゴマークの使用対象は、この地域の強みや魅力を体現する事業（製品、サービス、施設、活動等）とする。
- ロゴマーク使用にあたっては、使用する事業（製品、サービス、施設、活動等）の概要と以下の基準との関係性を登録し、使用承諾条件などの一般的なルールに従うものとする。
- 登録事務は、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会事務局で取り扱う。

①利用条件



【基準 1】
この3つの視点のいずれかに該当すること

①急峻な山岳と生物多様性

～三千メートル級の山々が
織りなす極限の世界への冒険～

②山岳と人との関わりの歴史

～山や自然に神を見出し恵みに
感謝する山岳観とアルピニズム
との出逢い～

③暮らしと自然との境界での滞在

～自然の豊かさや偉大さを
気軽・安心・快適に体感
できる贅沢～



【基準 2】
以下の視点を踏まえたものとする
こと

**④利用と保全の好循環
による持続可能性の担保**

②使用承諾条件など一般的なルール

上記基準を満たした
商品、サービス、施設、活動等でロゴマークを使用する

